

令和7年度第2回大府市文化懇話会 議事録

日時：令和7年11月12日（水） 午後2時から午後3時

場所：歴史民俗資料館2階 会議室1

＜出席委員＞ 6名（敬称略）

安田 文吉（東海学園大学客員教授、南山大学名誉教授）助言者

加藤 武志（名城大学非常勤講師）座長

伴 恵（大府市文化協会）

花井 里名（おおぶの杜育み隊）

張 悅（大府市国際交流協会）

山口 智絵子（大府市副市長）

【欠席】越後谷 卓司（多摩美術大学教授）

＜事務局＞

市民協働部長

文化交流課長、文化振興係長、文化振興係主査、主事

大府市歴史民俗資料館長

愛三文化会館指定管理者

おおぶ文化交流の杜指定管理者

＜傍聴者＞ 2名

1 座長、助言者あいさつ

2 議題

（1）令和7年度上半期事業実績について

資料に基づき事務局、各施設説明

＜質疑応答＞

委員同士でディスカッションの後、質疑応答

（委員）親子で参加する企画がたくさんあってよい。少子高齢化の中素晴らしい事業だと思う。国際交流協会でも食と文化を親子で学ぶ講座があり、お弁当の文化を学ぶ事業を行った。親子で一緒にやれると参加しやすい。

（委員）10/19に県民茶会が大府市で開催された。東浦・東海の協会にも協力いただき、県内から延べ1,600人の来場があったが、近隣の市町との関係作りがとても

大事だと強く感じた。次回5年後の東海市開催ではぜひ協力したい。

2/22 開催の竹澤恭子さんたちのスペシャルコンサートでの子供無料招待はとても良い取り組みだ。

(委員) 春からとても多くの事業を行っていると感じた。特に落語や歌舞伎、こども映画祭など、子供が参加する事業が多くありとても良い。

(委員) それぞれの施設ですばらしい事業を行っており、市役所でも少ない人数で毎週のように事業を展開している。自分もほとんどの事業に参加させていただいているが、子ども歌舞伎の公演などとても素晴らしかった。

今年は国際芸術祭「あいち 2025」の巡回展示「ポップ・アップ！」が大府市で開催され、歴史民俗資料館と市役所ロビーに展示された。最終日は雨の中、多くの来場者があった。また、駅前の KURUTO カフェでは、国際芸術祭のテーマ「灰と薔薇のあいまに」に合わせた期間限定のデザートを 12/7 まで提供している。ぜひご賞味いただきたい。

(アドバイザー) 大府市は、市民も市役所も（文化に対して）やる気がある。前に進もうという雰囲気を持っている。ショパンコンクールは進藤さん残念だったが、素晴らしい演奏だった。2/22 のスペシャルコンサートが楽しみだ。

歌舞伎教室については、今年度は新しい演目をやることとなり、自分も毎回出席して関わった。子供たちにはただ台詞を覚えるだけでなく、演目の背景も学んでもらいたく、講義の時間を作った。保護者の皆さんもよく聞いて勉強していた。子供たちも小学生から高校生まで幅広い年齢で参加しており、来年度も新しい演目をやることにしているので、伝統芸能を始め事業を継続していただき、この勢いで進んで欲しい。

(座長) 委員の皆さんのお意見をお聞きし、親子が対象のものなど参加のしやすさが大事であるとか、また、近隣の市町との日頃の付き合いが事業実施にあたり大事になるとの意見をいただいた。伝統芸能を始め、子供が参加できる事業がいくつもありとても良い。委員の皆さんも同じ意見を述べている。ずっと継続していることがすごいと思う。今後は参加した子供たちが育って、いずれ自分より年下の子に教える立場になっていくなど、人材の循環ができるとよい。ぜひ継続していくよう予算確保をがんばってほしい。やる気をもって前に進んでください。

(文化交流課) 補足として 2 点説明

- ・ 市制 55 周年記念事業として、2/22 に竹澤恭子・佐藤桂菜・進藤実優とセントラル愛知交響楽団によるスペシャルコンサートを実施予定。すでに多くの問い合わせをいただいている。11/22 のチケット一般発売に先駆け、大府市民対象に一般席購

入者は子供席2名まで無料とするスペシャルシートを用意し、11/15から先行販売する。

- ・バイオリンの里啓発パンフレットも作成。大阪・関西万博において、鈴木バイオリンスペシャルバンドが葉加瀬太郎氏と共に演する機会があったが、そのイベントで配布できるよう作成した。小学校でのバイオリン授業の取組や、鈴木バイオリンのふるさと納税返礼品としての取り扱いまで掲載した。

(アドバイザー) 自分は子どもの時に、ライプツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団やロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団など、海外の有名オーケストラの演奏を聴かせてもらった経験がある。ぜひ子供たちにレベルの高い音楽が聴ける機会を与えてほしい。

3 その他

会議終了後、「アートオブリスト2025」視察

【次回開催連絡】令和8年2月予定